

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



きょうされん第27回全国大会 in 兵庫に参加  
(神戸ポートピアホテル前にて記念撮影)

特集2

特集1

平成一五年度社会福祉法人こぶしの会事業報告  
きょうされん第二七回全国大会 in 兵庫だれもが  
心ゆたかに地域で生きつづけるために」に参加して

No.279



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～5 P
- ② こぶし作業所のページ..... 6 P
- ③ けやき作業所のページ..... 7 P
- ④ サポートセンターのページ..... 8 P
- ⑤ セルフ・みらいのページ..... 9 P

五月二三日、とちぎ健康の森において、第九四回理事会が開催され、平成一五年度社会福祉法人こぶしの会事業報告と会計報告が承認されました。以下、その概略をお知らせいたします。

## 平成一五年度社会福祉法人こぶしの会事業報告

はじめに  
支援費制度初年度の平成一五年度は、精神障害分野で初めての地域生活援助事業(第二けやきホーム)の設置やこぶしのときわ荘の移転など、障害者と家族のニーズに基づいた事業の拡大に取り組みできました。一方こぶしの会の基本的課題は、法人の組織基盤の整備であり、施設運営の質的向上でした。今年度は、法人、施設ごとの研修を実施し、家族会との交流・研修などを進めてきましたが、新制度はこうした施設基盤を根底から揺るがす内容を含んですすめられてきています。

支援費制度の影響をまとめてみますと、まず、支援費額水準の低下で、従来の経営を一気に悪化させたことがあげられます。収入減の影響は人件費削減、処遇の低下に直結します。いずれにしても、支援費の単価変動は、ここ一年の動向を見ている限り、グループホームのみならず、こぶしの会の福祉事業全般に渡り、影響が及ぶ可能性が大きいことを示唆しています。

また、支援費制度の導入が国・地方自治体の財政難を根拠に進められたことを、ここ一年の障害者福祉の施策動向は物語っています。特に、精神障害者の社会復帰施設整備状況は、都道府県協議申請の約二割の内示という惨憺たるもので、関係者の怒りが大きく厚労省を取り囲みました。さらに、こぶし作業所の老朽化が深刻で、一刻の猶予もならない状況にあります。市町村合併の混乱もあるかと思いますが、宇都宮市の施設整備計画は大きな不安を残しています。

制度変更の実務量の増大も影響のひとつ

つでしよう。支援費請求、新会計基準への移行処理など会計担当者に特段の奮闘を求めました。その中で明確な数字を求めたことは、引き続き財政硬直化の中での減価償却費に対応するための建設積立金の捻出をどうするのか。

また、支援費制度は利用契約制度であり、利用者の権利保護の側面も強調されています。施設利用に当たって、苦情解決窓口に寄せられたもの他、積極的に利用者の意見を文書化し検討してきましたが、利用者や事業者の期待される関係作りも双方誠意を尽くして改善を図る努力が求められます。

一、法人運営の強化  
(1) 理事会の開催(八回)  
法人の課題に即応した執行体制の確立に努めました。特に一五年度は、基本財産の売却、公務災害への対応など緊急に臨時理事会を開催し、その都度適切な議論と執行をしてきました。

(2) 評議員会の開催(二回)  
法人内部の評議員は極力少なくし、幅広い層の構成となり、重要事項について広く意見をお聞きすることができました。

(3) 常任理事会の開催(二回)  
理事会決定事項の具体化及び法人事業の計画的執行実現するため、毎月一回を定期開催しました。

(4) 施設長会議の開催(二回)  
常任理事会決定事項の執行、施設運営の諸課題についての検討及び施設間の調整を行うため、原則として毎月一回開催しました。

(5) 施設連絡(副所長・主任)会議の開催(二二回)  
担当施設長、副施設長、主任を構成メンバーとして、方針の徹底及び現場の課題を協議することを目的として毎月一回開催、一五年度は新任職員研修会の企画、運営を担いました。

(6) 人事・給与体系検討委員会の開催(委員会四回・事務局会議四回)

支援費制度を迎え、在るべき人事・給与体系を検討するため委員会を開催し、現時点での見解を報告しました。また、全職員を対象として、職務内容及び評価基準等についてのアンケート調査を実施しました。

(7) 会計担当者会議(七回)の実施  
授産施設会計基準移行と制度開始に伴う対応のため、開催しました。

### 二、教育・研修の開催

(1) 個別支援計画作成研修  
昨年度に引き続き、個別支援計画の作成について三作業所が別個に開催しました。

(2) 法人実践交流会の実施  
平成一六年一月三二日に、法人主催による初めての実践交流会を実施しました。レポートが一六本提出され、外部から助言者としてご協力をいただき、共通の課題について所属作業所を越えて討議、学習することができました。

(3) 新任職員研修(三回)  
経験年数二年までの職員(二五名)を対象に実施しました。

### 三、社会福祉法人こぶしの会長期計画(第一次)

策定委員会の運営第三年度に入り、具体的な計画提起が求められています。大きく変動する情勢の中で、法人内部でも計画の内容に若干の相違があり、計画が具体化されませんでした。

四、支援の質を高め、利用者の権利擁護を実現する法人、施設運営の追求

(1) 情報の提供  
「こぶしだより」の定期発行を第一義的に追及してきました。

(2) 苦情解決の体制整備、利用者からの苦情を適切に解決するために解決の体制整備を図りこぶしだより等で周知を図りました。苦情については、必要な場合は、第三者委員(池本喜代正宇都宮大学教授、畠田美知子非特定営利事業法人メ

イアイヘルプユー理事)の受付、指導をいただき、改善に努めました。

### 五、社会就労センターの役割の強化と就労支援

栃木障害者職業センターの実施する職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援事業の協力機関(法人)として、ジョブコーチを配置し、障害者の安定した職場適応を図ることに取り組みました。また、利用者の工賃規程を利用者が積極的に作業参加できる環境を整えました。

六、地域生活自立支援の展開

(1) グループホーム「こぶしのときわ荘」を移転、中古物件を購入し利用者の住環境の整備を進めました。

(2) 精神障害者のグループホーム「第二けやきホーム」を開設しました。

### 七、自治会活動の支援及び保護者会、後援会との連携強化

法人が主催し、各事業所保護者会との共催による交流会や学習会を開催し、保護者会の活動交流、法人と保護者の協同関係についての理解を深めました。

### 八、地域福祉の推進

法人が運営する社会就労センター(こぶし作業所、けやき作業所、セルブ・みらい)障害者生活支援センター、グループホーム等の諸施設・諸事業を地域福祉を推進する重要な社会資源として位置付け、地域住民、ボランティア、企業、関係機関との連携を深めました。

### 九、関係団体との連携の強化

栃木県社会就労センター協議会、栃木県授産振興センター、栃木県知的障害施設協会、きょうざれん栃木支部等の中で、積極的に役割を担い、県内障害者福祉の増進に努めました。また、上三川町スイートビートの会の作業所作り運動に継続的に支援してきました。

① 特集 1

事業活動収支計算書

(自)平成15年4月1日 (至)平成16年3月31日

社会福祉法人 こぶしの会

勘定科目		本年度決算
授産活動収支の部	収入	
	授産事業収入	32,756,626
	授産事業収入計(1)	32,756,626
	支出	
	授産事業支出	29,496,771
	減価償却費	3,430,272
	授産事業支出計(2)	32,927,043
	授産事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-170,417
事業活動収支の部	収入	
	利用者負担金収入	9,602,643
	支援費収入	214,302,590
	受託金収入	9,482,110
	寄付金収入	2,735,578
	事業収入	1,542,173
	経常経費補助金収入	30,269,377
	雑収入	6,620,106
	引当金戻入	175,900
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,076,456
	事業活動収入計(4)	283,806,933
	支出	
	人件費支出	189,153,892
	事務費支出	34,423,107
	事業費支出	32,666,188
減価償却費	20,926,251	
引当金繰入	1,983,350	
事業活動支出計(5)	279,152,788	
	事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	4,654,145
事業活動外収支の部	収入	
	受取利息配当金収入	1,038
	会計単位間繰入金収入	2,915,320
	経理区分間繰入金収入	52,140,439
	事業活動外収入計(7)	55,056,797
	支出	
借入金利息支出	924,523	
会計単位間繰入金支出	2,771,380	
経理区分間繰入金支出	52,184,039	
事業活動外支出計(8)	55,879,942	
	事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	-823,145
	経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	3,660,583
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	920,000
	施設整備等寄付金収入	3,550,000
	固定資産売却益(売却収入)	71,500,000
	国庫補助金等特別積立金取崩額	1,260,169
	特別収入計(11)	77,230,169
	支出	
	国庫補助金等特別積立金積立額	920,000
	固定資産売却損・処分損(売却原価)	39,679,203
	基本金組入額	1,660,000
特別支出計(12)	42,259,203	
	特別収支差額(13)=(11)-(12)	34,970,966
	当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	38,631,549
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(15)	59,809,293
	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	98,440,842
	基本金取崩額(17)	38,489,500
	基本金組入額(18)	19,680,000
	その他の積立金取崩額(19)	0
	その他の積立金積立額(20)	52,427,952
	次期活動収支差額(21)=(16)+(17)-(18)+(19)-(20)	64,822,390

社会福祉法人こぶしの会財産目録

(平成16年3月31日現在)

(単位:円)

資産・負債の内訳		金額	
1. 流動資産	現金	483,806	
	預金(普通・当座)	57,909,378	
	未収金	22,012,725	
	立替金	1,024,769	
	前払金	2,105,202	
	会計単位外貸付金	1,000,000	
	売掛金	1,376,014	
	流動資産合計	85,911,894	
	2. 固定資産	(1)基本財産	
		建物	344,359,619
建物付属設備		273,661	
土地		57,300,500	
基本財産合計	401,933,780		
(2)その他の固定資産			
建物	321,730		
建物付属設備	115,692		
構築物	2,749,945		
車輛運搬具	13,687,526		
機械及び装置	10,287,504		
器具及び備品	21,072,648		
ソフトウェア	2,626,774		
権利	232,000		
共済財団退職金預け金	12,269,190		
移行時特別積立金	9,644,400		
授産移行時特別積立金	3,294,000		
人件費積立預金	1,804,566		
その他の積立預金	50,623,716		
その他の固定資産合計	128,729,691		
固定資産合計	530,663,471		
資産合計	616,575,365		
2. 負債	1. 流動負債		
	会計単位外借入金	1,000,000	
	未払金	10,120,576	
	預り金	345,678	
	買掛金	1,172,126	
	流動負債合計	12,638,380	
	2. 固定負債		
	設備資金借入金	40,453,581	
	長期運営資金借入金	38,080,000	
	退職給与引当金	12,269,190	
固定負債合計	90,802,771		
負債合計	103,441,151		
差引純財産	513,134,214		

きょうされん第二七回全国大会in兵庫「だれもが心ゆたかに地域で生きつづけるために」に参加して

五月二十九日・三〇日に、兵庫県神戸市で第二七回全国大会が開催されました！

全国の仲間が神戸に大集合！千人の利用者を含めた三千人が集いました。

けやき作業所

水 沼「楽しかった。グループホームとか施設をもっと作って欲しいと話をしてきました」

見 目「参加できてよかったです。ほかのグループホームでは仲間だけで食事を作っている話を聞き、すごいなあと思いました」

道 明「けやき作業所からも発表したのがすごかった。食事が楽しかった」

平 石「難しかったけど、みんなと行けて楽しかった。また行きたい」

佐々木「発表（仲間フォーラムパネラーとして）がとても緊張したけど、参加できてよかったです。なかなか体験できるも

のじゃないし、終わってからは自信につながりました」

那 花「給料の話聞いてきました。他の施設では一ヶ月に七、八万の給料をもらっているところがあつたり、給料の出し方を、仕事振りを点数にして出しているところがありました。ほとんど施設でボーナス交渉をしていないことには驚きました」

直 井「来年の栃木大会を考えたから参加しました。自分たちで開催するのは全てが大変だなあと思いました。来年がんばります！」



利用者フォーラムでパネラーをつとめた佐々木由美さん「けやき作業所自治会の活動～ボーナス交渉・けやきまつりのとりくみ～」

セルプ・みらい

青い空に青い海という想像を見ていると、ラッキーでした。神戸の青はとて幸せいはいでした。水色と青と紺というグリーンは神戸パワーを思わせました。青系好きの私にとりては、うれしくなりました。だから、自分もアネの青でした。ワールに漂う神戸を感じていました。好きな青い花を作りたくなるばかりだと思いました。 小坂 英子

みんなびびくりしました。  
 みんなでラカスをつくり  
 みんなでラカスをしりました。  
 みんなでラカスをしりました。 小坂 英子

大会さんかのかんぞう(保田)さん  
 なにもやらかさのうとかんぞう  
 自分で歌を歌ったり(保田)さん  
 するのたり(保田)さん  
 たりたり(保田)さん

私は、サレバかとても楽しかったぞ。  
 リズムがとてあなたのしかたです。  
 コーバンがとておもしろいかなです。  
 ホテルをバックにしてしじんをとりれた。  
 みるのホテルがとておもしろいぞ。  
 また、兵庫に行きたいなと思ひました。  
 また、みんなで行きたいぞ。 (保田)さん  
 とてあなたのしかたです。また、いこうぞ。



## こぶし作業所ニュース

### 自治会活動目

去る5月15日(土)、第1回目の自治会活動日があり、矢板市の県民の森へハイキングに出かけました。

今年度は、昨年度まで行ってきた「日曜作業所」を、日課の中に盛り込んだクラブ活動と、休日に取り組む自治会活動日(年4回実施)の2つに分け実施することにしました。

障害の重い人が多いこぶしですが、長い間、自治会活動や仕事、日課を通し大人として一歩一歩力をつけてきたことは、一人ひとりの自己表現力から見ても明らかです。

そこで更なるステップとして今回、利用者が主体となる機会を増やすために自治会活動日をつくり、企画から実行までの「作り上げる作業」を経験し、自分たちの生活づくりの力を身につけて行ければと思っています。

さて、第1回目は5月ということもあり、新緑を味わうハイキングとなりました。自治会役員さんが企画し、あれこれ候補地探しをするのですが、やはり経験の少なさからイメージが膨らまず、連休中本屋さんなどでハイキングのできる場所を探すことにしました。

しかし、話し合ったことを長い時間気に留めておくというのも難しく、休み明けの会議で、情報提供できた人は一人だけでした。結局その人の持ってきた写真の載っているガイドブックを見て話し合い、場所やスケジュール等を決めました。

当日は天気に恵まれ、参加者も多く、みんな楽しく過ごせたようです。

細かなところでは当然不十分さがあるのですが、すぐに周囲が答えを出してしまうのではなく、ちょっと苦勞もして、不十分さも実感し、自分たちで次に向け考え出すことが自立する大切さだと思います。早速、次の企画が出てきています。

### 音楽会開催!

5月27日(木)食堂で音楽会が開催されました。今年度は、月に1~2回木曜日の午後をつかって文化・スポーツの活動を楽しむことになりましたが、今回はその第1回目でした。ボランティアの樋渡美千代さんのトルコ行進曲をはじめとしたピアノ演奏、職員の原さんのリコーダー演奏の後、「世界にひとつだけの花」「見上げてごらん夜の星を」をピアノ伴奏でみんなで歌いました。演奏のときには、静かに聴き入り、歌うときには曲に合わせて踊り出したりと、十分に音楽を満喫しました。次回が楽しみです。

### チェリー脱走!!

先日、作業中にこぶしの周りをウロウロしている野良犬がいました。よく見てみると、どこかで見たような…。そう、なんとこぶしの愛犬チェリーではないですか。自分でひもをちぎり逃げ出したようです。職員が追いかけても追いつけず、そのまま野良犬になってしまうのかと心配していたら、すぐにこぶしに帰ってきました。これからはしっかりと散歩をしようと思う出来事でした。

# けやき作業所

## 「地域での暮らしを支へ」就労・生活支援担当者からの報告」

昨年度から、けやき作業所の利用者を対象とした「地域での暮らし」を支援していく生活就労支援担当者が配置されました。地域での暮らしの支援は、例を挙げれば様々な領域があるとされます。しかし、経験の浅い二人の職員では、そのような様々なニーズに応えらるだけの力量もなく、日々の業務と平行しながらの支援です。担当者の試行錯誤の取り組みの現状を報告したいと思います。

### 困難に立ち向かう力を支えたい

一年間、何名かの生活支援を担当させていただきました。中でもSさんにおいて、家族の問題に直面し、現在、少しずつ問題解決に向けて歩み始めているところです。夫婦関係・養育問題・経済問題等、Sさんにとって人生において初めて直面する問題であり、職員側もSさんが問題・悩みを抱えておられるであろうと察しておりました。この様な状況下、Sさんから相談を受けました。Sさんは、色々な問題を自身の胸の内に秘められていましたが、現在は少しずつ少しずつ心境を話してくださるようになってきました。Sさんが、時には涙をこぼされ、込み上げてくる思いを話始めてくださるようになってきたきっかけはあったのでしょうか。生活支援の中身は在宅の方の支援から就労支援まで幅広い内容であります。現在、様々な問題に向けて各関係機関で会議を持ち、情報を共有しながらSさんの支援を行っております。それぞれ分野でそれぞれの担当が一丸となつて、Sさんの生活を丸ごと応援しています。このような日々の支援の中で一番重要なことは、Sさんが自らの幸せを追求して頑張ることに寄り添い、

「一人ではない」と思っていただけのように支援を行うということだと思つていきます。生活支援をさせていたでいて、自分も思つていて、自身がエネルギーをもらったり、元気をもらったりすることが多々あります。共に幸せを追求する。これが生活支援の醍醐味ではないでしょうか。これからも、一人ひとりが笑顔でいられるように、一歩一歩、利用者の方と共に歩んでいきたいと思つています。

(荒井)

### 手をつなぎ引きこもりを乗り越える

二年ほど前から、作業所に通つことが困難となり、在宅で外に出る機会がほとんどなかったK君の家庭訪問を再開して約一ヶ月ですが、近所への買い物、散歩、作業所での昼食と、週に一回から二回へと少しずつ時間を増やしながら、また以前のように毎日作業所に通えるようにと現在支援をしています。家族の方の話によると、目標ができたのか、訪問の日は早くから起きる準備をして待っていてくれるとのこと。自分自身が周りの人から「必要な人」とされていることが実感できたとき自信や喜びが湧いてきます。そのことは「動くこと」を通してより具体的に実感できるのだと思つています。そのような日がまた来るのもそう遠くないと信じています。

(袖山)



### 陶器市に参加しました！

4月から5月にかけて開催された、益子町陶器市に参加しました。パン、餃子(みんな様よりご協力いただきました)、生ビール、草もちなどを販売し、多くの収益をあげることができました。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。



### きょうされん全国大会にむけて学習会開催

5月15日(土)に、きょうされん全国大会参加にむけて、栃木支部より講師を招き、自治会の学習会を行いました。



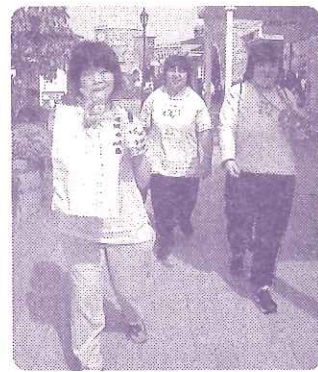
### 佐野アウトレット → ショッピング

5月8日(土)、佐野市にあるアウトレットショッピングモールに行ってきました。お店の並ぶ、広い敷地にみなさん驚かれていました。

### ← 料理教室開催

5月22日(土)、芳賀町生涯学習センターにて料理教室を開催しました。自分たちの食べたい、作ってみたい料理を話し合いで決めて、自分たちで買出しをしたり、調理をしたりと大賑わいしました。

(写真：熱心に調理してくれた小林博美君です。頭のタオルがなんともいいでしょう！)



## 今月のホリデー

県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

栃木の名物(！?) 雷がやってきまあね。  
ちよつと怖いけど、ヒカって光ったら、カー  
テンを睨けて雷見物してみませんか?  
よくみると、なかなかキレイであふ。

## 精神部門後援会大活躍! 益子陶器市

第二ヶやき作業所とともに、五月一日・  
二日の益子陶器市へ参加してきました!  
当日は「抹茶屋さん」「カップアイス」「モ  
ンゴル絵画」の3つに分かれて出店しまし  
た。

「抹茶屋さん」のメニューは…抹茶セツ  
ト「暖」、「涼」、ホット抹茶、抹茶ミルク。  
益子町の著名な陶芸家の作品(抹茶茶  
碗)をお借りして、裏千家免許皆伝のセ  
ンター長と第2の土田スタッフを中心に  
お茶をたてました。いやあ、本格的です  
ね。

「カップアイス」のメニューは…バニラ、  
アスパラガス、黒ゴマ、抹茶。  
このカップアイスは「社会就労センター  
えいぶるの里」の手作りアイスです。アス  
パラガスのアイスなんて珍しいですよ。  
食べてみるとほんのり甘くておいしい  
んです!

当日、陶器市にきてくれたメンバーさ

んからは、「益子まで行って、ほっとCHA  
Aの抹茶飲んできたよ。おいしかった!」  
と、うれしい声を聞かせていただきました。  
「お客さんたくさん来たの?」「いやいや、  
参加することに意義があるのです。」

## きょうされん 全国大会in兵庫

今回ほっとCHAからは1名の参加で  
した。障害別分科会では「精神障害」に参  
加しました。テーマは「当事者が生み出す  
実践に学ぶ」というもので、全国各地の仲  
間やスタッフ、家族の方等の声を生で聞  
くことができました。「私は精神障害者で  
す。幻聴や幻覚に悩まされています。薬  
を飲んでいますが、でも自分ひとりでは薬  
を飲んだだけでは変化は現れない。居場  
所へ通って、その人にふれあって、触  
発されてはじめて変化が生まれる」参加者  
からこのようなお話が出ました。変化と  
は「生きがい生まれ、前向きな生活を送  
ろうと自発的に感じる」と「だそうです」  
「居場所探しは難しいよ」という声もあり

ました。

ほっとCHAはみんなの居場所です。  
スタッフだけではなく、みんなと一緒に  
ほつ…とできる居場所作りをしていき  
たいとあらためて感じました。

## ヒーフル

芳賀町役場に勤務している保健師  
さんです。障害者の方々の相談を行っ  
ています。

仕事等で、けやき作業所やライフ  
サポートセンターにお邪魔する機会  
が多いのですが、利用者の方が声を  
かけてくれたり、のびのびと活動し  
ている様子を見ると、活動の場がこ  
こにあるという実感があり、とても  
心強く感じています。これからも、  
けやきの木のように大きくのびのび  
と育っていくことを期待しています。

芳賀町 健康福祉課

保健師 矢口 富子

芳賀町の木は  
ケヤキなんぞ  
あふ。





# みらいニュース



## 井頭温泉祭りに出店!!

五月二三日の日曜日、井頭温泉祭りが開催されました。みらいの会は、炊き込み御飯、フランクフルト、飲み物、ヨーヨー釣りの店とフリーマーケットを出し、販売用品の提供のご協力もあり、八万円を超える収益をあげることができました。お隣のなすなの会との交流も深めながら楽しい一日になりました。一日頑張つてヨーヨー釣りや販売をしてくれた仲間の皆さん、保護者、みらいの会の皆さん、お疲れ様でした。



## 自治会役員改選行われる!

五月二五日(火)の午後二時から、平成一六年度のセルプ・みらい自治会選挙が

行われました。立会演説会では、五名の立候補者が、「ボーナスが上がるようにがんばります」「みんなで旅行に行きたいです」など、それぞれに公約の発表と、自己アピールを行いました。発表の後には、「どうやってボーナスを上げるのですか?」と、厳しい質問もありました。

次に、いよいよ投票です。今回の投票では、利用者が一人一枚ずつ投票カードを持ち、各立候補者の写真の貼られた投票箱にカードを入れる方法をとりました。名前だけでは分からない利用者も、写真を見ながらじっくり考えて、自分が「この人だ!」と思った人に投票しました。結果、新しい役員として、会長に吉沢実さん、副会長に渡辺重晴さん、書記に那花峰子さん、会計に並木賢二さんが、選ばれました!新役員の皆さん、よろしくお願ひします!

## いいTOMOTシャツ(きょうざれん)デザインコンクール入選!

いいTOMOTシャツデザインコンクールにて、セルプ・みらい職員の鈴木知恵さんのデザイン画が、みごと入選!という快挙を果たしました。日頃からイラストが得意な鈴木さんにとって、今回の入選は、当然といえば当然のことなのでしょうが、セルプ・みらいにとっては、

初めてのことに!これから、このチャンスをも、どんなふうにかかしていかうかとわくわくしながら、思案しています。まずは、夏季の物品販売の目玉商品として販売する計画を立てています。皆様、ご協力をお願いします。それでは、鈴木さんの喜びの声とデザインを紹介したいと思います。

まさか自分のデザインが入選するとは思いませんでした。入選するんだったらもっと丁寧に描けばよかったかな?と後悔しております。今回のデザインは「皆が仲良く・元気になるようなデザインがいいな!」と思い、描いてみました。是非、皆さん、私のデザインTシャツを着てみてください。きっと幸せになれるはず...!?



僕たちのこと  
 もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、  
 利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
 028-687-1040






**こぶし作業所・後援会**  
**ボランティア大募集!**

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備


お待ち  
 しています

お問い合わせ こぶし作業所  
 ☎028 (662) 1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、  
 なし畑に囲まれたのどかな  
 とってもよいところですよ! ☆

☆第2けやき作業所 


☆県東ライフサポートセンター ☆

**ボランティア大募集**

**セルフ  
 みらい**

箱折り、リサイクル  
 作業  
 弁当配達のお手伝い  
 作業ボランティア  
 ...etc

☆仲間と一緒に  
 楽しい時間を過ごしましょう☆



**社会福祉法人 こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912  
 TEL 028 (613) 5703  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
 TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所  
 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- 県東ライフサポートセンター
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025  
 TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 170-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円